

GovTech Challenge OKAYAMA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



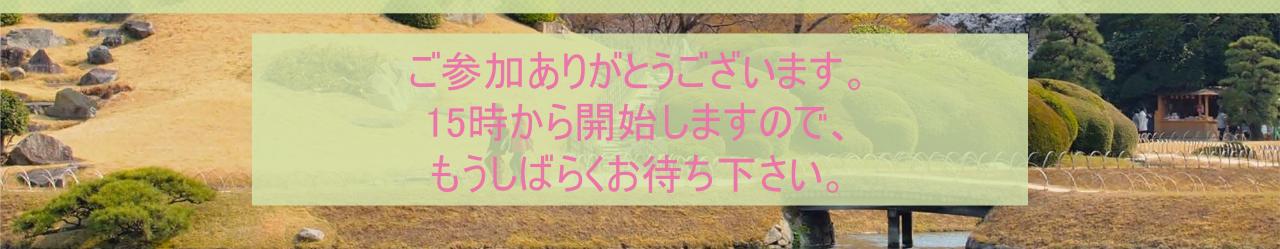




GovTech Challenge OKAYAMA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト







GovTech Challenge OKAYAMA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト





本日の流れ

コンテンツ	時間
GovTech Challenge OKAYAMA実施にあたって 岡山市長 大森雅夫よりご挨拶(動画)	15:00~15:01
GovTech Challenge OKAYAMAにかける想い(創業支援・雇用推進課)	15:00~15:05
GovTech Challenge OKAYAMAの事業概要	15:05 ~ 15:10
各課題説明	15:10 ~ 15:30
ブレイクアウトルーム 質疑応答	15:30 ~ 16:10
よくあるQ&Aの紹介、全体QA	16:10~16:20
クロージング	16:20 ~ 16:30

岡山市長 大森雅夫よりご挨拶





GovTech Challenge OKAYAMAにかける想い 創業支援•雇用推進課 河合課長



GovTech Challenge OKAYAMAとは?

市職員とスタートアップが協働して 行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、 市の課題解決とスタートアップの成長を目指す取り組み

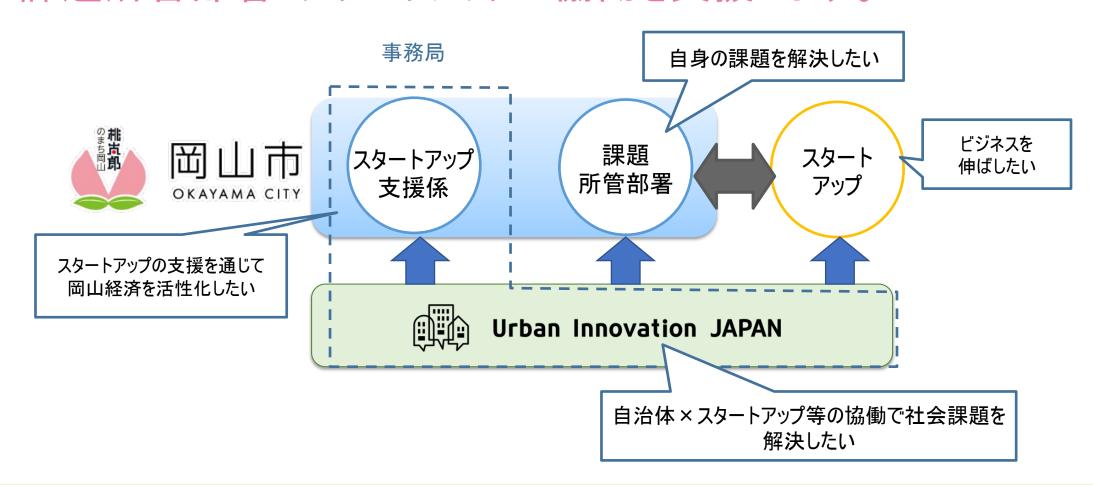


募集テーマ

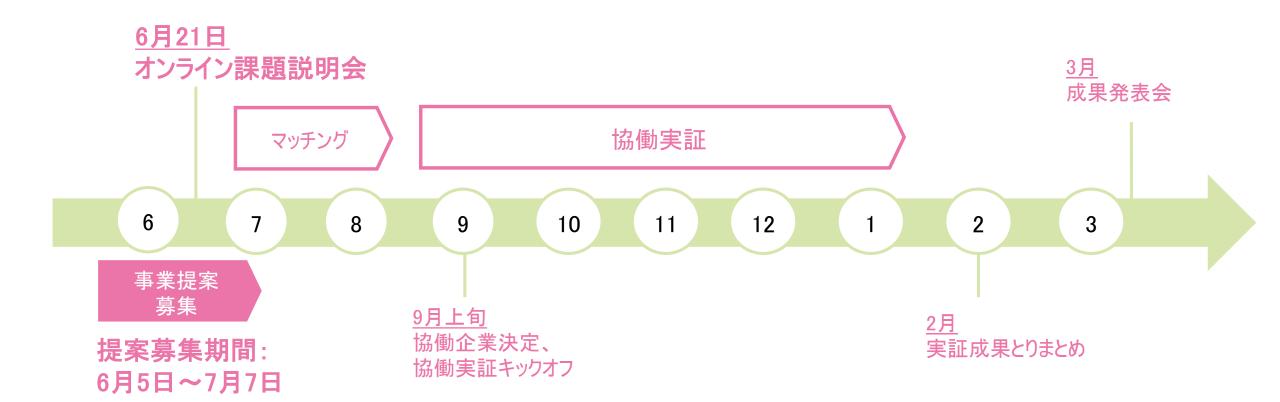
テーマ	担当部署
市役所応対にもChatGPT?! 新時代の行政電話AI対応を実現したい!	課税管理課
DXはどこまでがベスト? 毎年更新・保育園の補助金システムを一緒に考えたい!	保育•幼児教育課
みんなが集まる! 「障害者就労継続支援」の理想のカタチをホンキでつくりたい!	障害福祉課
求職者との新たなマッチング手法で、 市内中小企業の人材確保につなげたい!	創業支援•雇用推進課
行政がTikTok?脱・行政的啓発! 広告宣伝のプロたちとSNS運用はじめたい!	人権推進課
問い合わせ件数日本一?! 農用地のデジタル管理を進めたい!	農林水産課

プロジェクト実施体制

スタートアップ支援係とUrban Innovation Japanが事務局となり、 課題所管部署とスタートアップの協働を支援します。



全体スケジュール



企業等への期待・実施いただきたいこと

課題解決のアイデア・技術

企業等の技術やノウハウを基にした課題解決アイデアのご提案。

実証実験の企画・運営

担当課職員と協働で実証実験を進める。特に技術的なサポートを期待。

※事務局も企画・運営をサポート

成果報告サポート

実証実験成果のデータ集計や考察などの取りまとめをサポートいただく。

ご提案企業のメリット

製品・サービスのテスト

本格導入・他自治体への展開

3つのサポート



実証補助最大50万円/課題



実証フィールドの提供



行政職員とUIJ事務局のプロジェクトサポート

昨年度の実績

①課題選定 ブラッシュアップ

②企業募集 説明会実施 ③実証プロジェクト 選定

④実証プロジェクト マネジメント

⑤実績報告 本格導入検討











庁内から

参加者

提案

社会実証PJ

継続件数

昨年度の実績(メディア掲載)

口木经濟新聞

記事利用について

岡山市、スタートアップと課題解決 町内会DXなど5事業

2023/2/14 4:00 日本経済新聞 電子版



町内会手続きの電子化に向けた電話を1.た(1日下旬 図山市庫収給所)





「フレイル」判定にAIアバタ 一活用 健康チェックの実証実験

01月27日 13時42分



NEWS ==-Z

AIアバターと楽しく健康チェック 岡山市 が実証実験

2023/1/27 18:09

#岡山 #科学・医療 #IT・テクノロジー #社会



AIアバターと楽しく健康チェック 岡山市が実証実験

高齢者に楽しみながら健康チェックをして もらおうと、岡山市がAIを活用した実証実験 を始めました。

「自分が住む街にこんなにゴミがあるのか、と気付いて」川で ごみが多くたまる"ホットスポット"をAIで判別!【岡山】







応募方法



Urban Innovation JAPAN

過去の課題

自治体の方 はコチラ

お問合せ

はコチラ

申し込み

岡山市 (岡山県)

岡山市では、昨年度、スタートアップの成長支援とデジタル技術等を活用した社 会・行政課題の解決を目的とした新たな事業として「GovTech Challenge OKAYAM A」を実施しました。岡山市では、初めての取り組みでしたが、 意欲的なスタート アップの方々と社会実証に取り組むことができました。今年度も本事業を通じて、 スタートアップの成長支援をさらに加速していきたいと考えており、最先端の技術 や斬新なアイデアで課題解決のご提案をしていただけるスタートアップ企業を募集 します。岡山市を社会実証フィールドとして、一緒に課題解決にチャレンジしてみ ませんか。みなさまのご参加をぜひお待ちしています!



募集中















岡山市募集課題一覧

締切 2023年 07月 07日 (金)



選考プロセス

7月上旬~中旬 6月5日~7月7日 7月下旬 書類審查 担当部署による **WEBから** 応募 面談 ※必要に応じて 事務局ヒアリング

各社30分~1時間程度

可能な限りデモを確認

担当部署と企業とで1時間程度

事務局にて採点



お問い合わせ

詳しい募集要項はホームページをご覧ください。











ご質問は以下の事務局メールアドレスまでご連絡ください。※担当課への直接のお問合せはご遠慮ください。

連絡先

GovTech Challenge OKAYAMA事務局/ Urban Innovation JAPAN事務局

urban_innovation_japan@communitylink.jp



こんな企業のご応募お待ちしております!

- ✓ 本気で社会をよくしたいと思っている
- ✓ 地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
- ✓ リスクをとって事業拡大を目指している





1.解決したい課題、実現したい未来

電話回線がパンク!!

市県民税の納税通知等の発送時に市民・会社からの電話による問い合わせが多数 回線がパンクし、対応できない状態が続くことがある

- -般的な問い合わせをAIチャットで回答したい
 - ・ 納税者個人からの問い合わせ (年金からの引き去りの制度説明など)
 - ・ 会社からの問い合わせ(採用・退職時の手続きなど)
 - ⇒ChatGPT等の人と会話できるAIを活用したチャット又は電話等を導入
 - 一般的な問い合わせに対し正確に回答できるレベルに
- 将来はマイナポータルと連携し個人の問い合わせを回答したい
 - 一般的な問い合わせだけでなく、個人の税金の問い合わせにも対応

2. これまでの取り組み

通知書発送

毎年5月中旬に約3万事業所宛て 住民税が給与引き去りされる対象者を会社宛等にお知らせするもの

会社からの問い合わせ

退職により給与引き去りの対象から外したい 採用により新たに給与引き去りの対象に追加したい etc・・

- 現在の状況と対応
 - コールセンターを設置(最大6回線) ※令和4年度実績
 - 1日最大468件の問い合わせ

それでも電話回線がパンク(300件あまり受けきれていない)



3. 今回取り組みたい実証内容

ChatGPTの登場により、AIが人と会話をするような文章を生成できるレベル となっており、このような生成AIを活用したチャットボット等で課題を解決したい。

AIにFAQなどの学習

- どれだけ正確な回答になるのかを確認
- 条件分岐の必要性を検証
- 音声通話の実現
 - どこまで音声でのやり取りができるのか検証
 - 音声入力のテキスト化、AIの回答テキストの音声読み上げ
 - 実用性の確認
 - 質問から回答までの時間などの最適化
 - 利用状況及び利用者の満足度を測定



4. 実証で実現したいゴール

チャットボットではキーボードやスマホの操作がしにくいこともある。 そのため、以下の内容を実用に耐えられるレベルまでにしていただきたい。





正確な回答



電話応答の 実用化



1.解決したい課題、実現したい未来

私立園への補助金の種類が 多いため、電子申請等の デジタル化を進めたい



▼主な補助金等の種類(令和4年度)

補助金の区分	数	例
		·私立保育園運営費委託料
子どものための教育・保育給付費	5種類	・施設型給付費(こども園給付費)
		·施設型給付費(幼稚園給付費)
		·病児保育委託料
地域子ども・子育て支援事業費	7種類	・一時預かり事業補助金
		·時間延長保育事業補助金
		·保育協議会保育士研修委託料
私立教育·保育施設等助成費	23種類	·私立保育園特別委託料
		・私立認定こども園特別運営費補助金
		·私立幼稚園支援事業補助金
私立幼稚園助成費	3種類	·私立幼稚園施設等利用給付費
		・私立幼稚園預かり保育利用給付費

約40種類



2.これまでの取り組み

◆申請書類の入力作業は外部へ業務委託



内容の不備の確認 メール、紙ベースで のやりとりに時間が 掛かり負担軽減が 少ない!



3.今回取り組みたい実証内容

◆補助金の一部を対象に、申請から書類 チェックまでをデジタル化できる仕組みを 構築して検証したい

→ デジタル化に向く業務の特定や効果的な実 装方法や順番を検討したい

4.実証で実現したいゴール

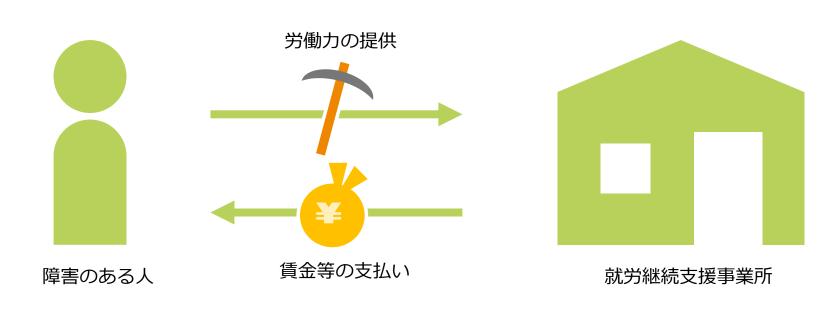
・申請から書類チェックまでをデ ジタル化(自動化)したい

・汎用性のあるシステム



就労継続支援事業所支援に係る諸問題が整理されておらず、障害のある人が自立するため の仕組みが確立されていない

就労継続支援事業所とは?

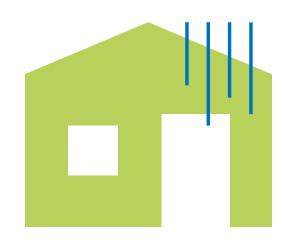


→ 就労継続支援事業所を支援し、収支を改善することで、障害のある人の自立に繋がる

1.解決したい課題、実現したい未来

就労継続事業所の収支を改善するためには?

就労継続支援事業所の抱える様々な困り感



利用者の数が足りない…

職員の数が足りない…

営業や単価交渉ができない…

生産活動に関する専門知識が足りない…

商品の企画・開発ができない…

これらに対し効果的なアプローチを行うことで……

障害のある人が十分な対価を得て自立し、自己実現を図ることができる社会を構築したい

2.これまでの取り組み

これまでの主な支援メニューと支援内容

支援メニュー	経営改善支援	商品開発支援	広報支援	販路拡大支援
各種セミナー	0	0	0	_
個別相談		_		_
個別支援			0	_
商談会(~R3)	_	_	_	\circ
				`\/

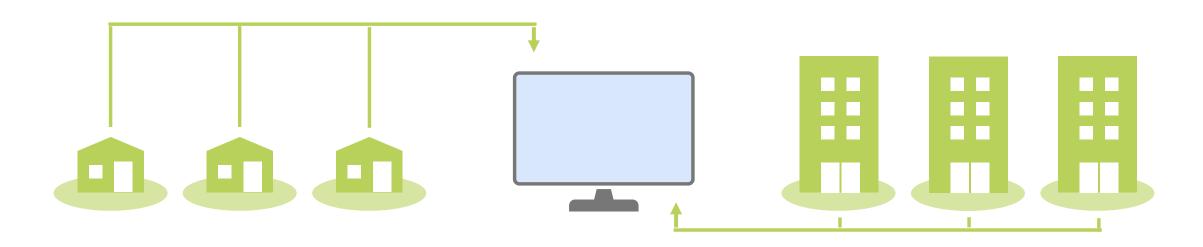
商談会をR3で取り止めたことにより直接的な販路拡大支援が行えていない中、 R5.2のアンケートからは営業力に課題を感じている事業所が一定数あることが明らかに

→ 直接的な販路拡大に繋がる支援策が必要



作業委託を希望する企業等と作業受託を希望する事業所をマッチングさせる、WEBプラットフォーム等の 構築

→ 実際に登録を募り、きちんと仕組みとして機能するかを検証

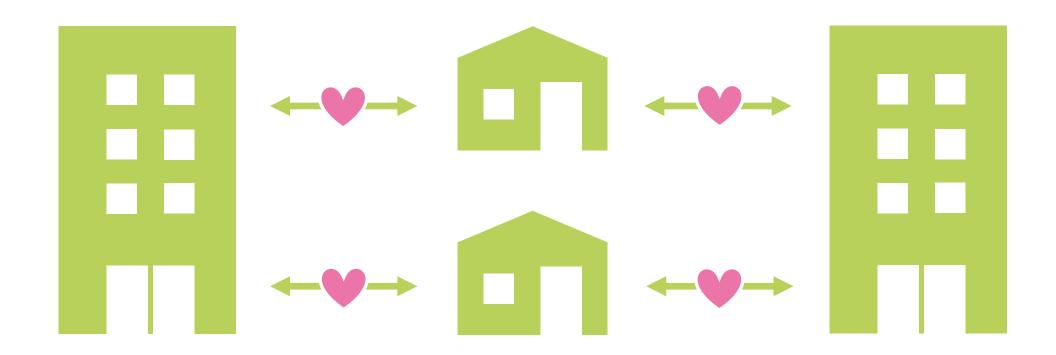


その他、新しい事業所のカタチとなりうる提案も歓迎!

(ノウフク連携に関するもの、事業所の自主事業を成立させる新提案など)

4.実証で実現したいゴール

・企業と事業所がマッチングできる状態を作り、実際に事業所の販路を拡大する (その他、障害者の自立に繋がる新たな仕組みを見出す)





1.解決したい課題、実現したい未来

<u><解決したい課題></u>

若い世代の地元定着及び市内中小企業の人材確保を行うため、<u>新たな方法で企業と求職者のタッチポイ</u> ントを生み出し、地元企業の魅力を届けてマッチングしたい

<実現したい未来>

市内中小企業の人材確保のために時代に合わせた効果的な手法を知り、市として積極的な人材確保支援 をしたい。

2.これまでの取り組み

くこれまでの取組①>

新規学卒予定者を対象とした合同企業説明会、 若者と若手社会人との交流事業などを通じて市内 中小企業・小規模事業者の人材確保等の支援を 行っている。

くこれまでの取組②>

市内中小企業を紹介する情報誌「オカヤマ カンパニーガイド」を作成し、大学生等へ提供、 企業の魅力発信を毎年行っている。







3.今回取り組みたい実証内容

本市および市内中小企業の新たな魅力を発信したり、 人材とコミュニケーションを取るための効果的な方法を検証したい。 (以下、例)

- ●県内・県外の学生がつい参加したくなるようなイベントの企画
- ●インターンシップや副業の活用
- ●人材とのコミュニケーションツールやコンテンツ・表現など 市内中小企業の魅力を発信し、知ってもらう新たな手法

4.実証で実現したいゴール

時代に合わせた新たな効果的な手法を導入し、

市内中小企業の人材確保を支援したい!!





1.解決したい課題、実現したい未来

◎「人権」に関することは身近で大切なことだが、当事者以外の人はなかなか なじめない問題

◎毎年、テレビ(夏休みに映画放映)、ラジオ(毎週土曜日夕方AM地元局)で 啓発に努めているが、効果があったのか検証できない

◎SNSを活用して、多くの人に気づきを持ってもらいたい



※誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり

2.これまでの取り組み

Oラジオ

第732回4月6日放送分 人のつながりを広げるトランスジェンダー (匠・美咲・健太)

♪♪ テーマ曲

Na (二人声をそろえて)「夕焼けの向こう!」

子どもたちの素直な視線や意見には、大人がドキッとさせられたり、新たな発見をすることって 少なくありませんよね。

そんな体験をできるのが、好奇心いっぱいの小学生、健太と美咲がお届けする「夕焼けの向こう」です。

さて今日は、どんな出会いが二人を待っているのでしょうか。

丘 ねえ、美咲ちゃん、健太、僕の先輩に性同一性障害、トランスジェンダーの人がいるんだ。

美咲 その先輩って、体の性と心の性が一致しないのね。

匠 中学生のときに女の子が好きだって気づいて、自分の性に違和感を抱いたそうなんだ。 それからは髪を短くして、セーラー服を着たくないから体機服で学校へ通ったらしいよ。 高校時代はスカートの下にズボンをはいたそうだ。

美咲 中学の体機肌は主まにいたりするけど、スカートの下にズボンは目立つんしゃないの? 匠 だから、おかしな子と思われたくなくて、人一倍勉強して国立大学に進んだんだ。 だけど、大学で学ら日標を失って中退してしまってれ、仕方なく故郷に戻ったんだ。

健太 故郷は温かく迎えてくれたの?

至 実は、先輩、お寺の長女なんだけど、すぐ下の弟が長男として寺を継ぐことに誰も疑問を持たなかったそうで、

「私はいてもいなくてもいいんだ。私って、何?」って思いをずっと抱えてきたらしいんだ。

美咲 じゃ~、ずっと苦しんでいたんだろうね。

匹 でもね、父親とお酒を飲んでいるときに、思い切ってすべてを打ち明けたんだ。 ところが、「母さんには言うな」の一言だったらしい。家族にすら言ってはならないのかと落ち込

私には"もう居場所がない"って追い詰められたそうだよ。

健太 じゃ~、今はどうしているの?

匠 幼なじみの自殺をきっかけに、生きている自分の可能性をもう一度信じてみようって思い立ったらしいんだ。

でね、実家で見習い僧侶をしながら、太鼓や神楽の集まりなんかにも積極的に関わるようになったって。

それにね、性的少数者への理解を広げようと人前で経験を話すようにもなったんだ。 「それは社会のためだけじゃなくて、自分自身の・思場所づくり"のためでもある」って話してく ゎゕ・ト

美咲 いろんなことをやっていくことで、地域の人たちも先輩への見方が変わってくるよね。

匠 先輩もね「人と人をつなぐ様から新しい"家族のかたち"が見つかるかもしれない。 親子や夫婦でなくても補い合う関係が生まれるんじゃないか」って言っていたな。

美咲 そうよね、新しい家族、パートナーの形ってありそうだよね。

美味 せつよね、新しい家族、ハ 匠 僕もそう思うよ。

№ いかがでしたか? 「夕焼けの向こう」に、何が見えたでしょうか?

あなたにとって明日がよい一日でありますように?

番組では、みなさんのご意見やご感想をお待ちしています。

宛先は、郵便番号 700-8580 RSKラジオ「夕焼けの向こう」係です。

提供は、岡山県内15市で構成する岡山県都市人権推進事業連絡協議会でした。

♪♪ テーマ曲フェードアウト

〇テレビ(映画)

・毎週土曜日 17:55~(5分間)放送 視聴率:不明

- 製作: 大手広告代理店
- ・構成作家によるシナリオ 作成



・年2回放送(夏休み) 同名での視聴率

R4.8.15 : 5.7%

R2.8.5 : 1.7%

- ・製作:現在製作なし
- 過去の作品を2年周期で 再放送



3.今回取り組みたい実証内容

「人権テーマ」に即した伝わりやすいコンテンツの製作

ターゲットに合わせた発信方法

情報発信後の効果検証



- 動画TikTok (CapCut) での製作
- ・生成AIを利用した啓発イラストの 作成
- 短歌による人権メッセージの発信
- 多様性を持つインフルエンサー からの発信
- GoogleのHPにコンテンツを掲載 などなど

短い秒数でメッセージ性のあるコンテンツの製作

4.実証で実現したいゴール

「人権」は身近なもの 性的マイノリティ・ヤングケアラー・障害のある人・日本で暮らす外国人など

多くのひとの気づきが必要

マイノリティ・マジョリティ の関係ない社会へ



多様性を認め合う社会へ



1.解決したい課題、実現したい未来

解決したい課題

農用地かどうかの問い合わせを減らしたい 農用地かどうかの複雑な判断を簡単に判断できる仕組みができないか

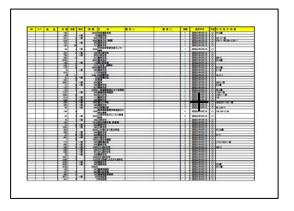
実現したい未来

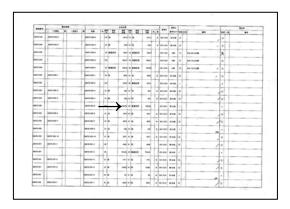
- ⑴職員が誰でも簡単に農用地かどうか回答できる検索システム等を構築する
- ②HPに検索システムを公開して市民が自ら農用地がどこか分かる仕組みを 構築したり、地図を色塗りするなどして可視化する

2.これまでの取り組み

- 回答できる職員を増やす
 - →担当外職員だと判断に時間が掛かり、自分の仕事に影響が出るため困難
- ・紙ベースから電子ベースへ移行
 - →データ量が多いため見にくい、Accessの動作が重たい
- ・政策局のDX事業に応募(GISを使い可視化)
 - →農用地が特定できない場所が多くあり断念

 $\begin{array}{c} 266^4, \ 266^4, \ 266^2, \ 266^2, \ 266^2, \ 268^2$ 297-5, 299-1, 299-2, 300, 301-2-86, 301-3, 301-6, 302-1, 302-2, 303-3 303-4-86, 304-1, 304-3, 304-5, 305, 306, 306-1, 307, 308-1, 308-2, 308-3, 208-4, 209-1, 339-2, 309-3, 310-1, 311-2, 312-1, 313-1, 313-2, 314, 315, 316-8-88, 316-2, 316-3, 316-4, 316-5, 317-1, 317-6, 317-6, 317-6, 317-7, 317-8, 317-9, 317-12, 218-3, 318-4, 318-5, 318-6, 318-8, 318-1, 318-3, 119-4, 319-5, 319-6, 319-7, 329-2, 329-3, 339-4, 329-6-86, 321-1, 321-2-86, 321-1, 321-2-86, 321-1, 322-2-8, 321-1, 322-2-8, 321-1, 322-2-8, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 321-3, 321-4, 3 325-5, 325-6, 325-8, 325-9-35, 325-10, 325-11, 325-12, 325-13, 325-15, 226-3-8, 326-4, 326-5-8, 326-7, 327-1, 327-4, 327-5, 327-6, 327-6, 327-8, 328-2, 328-2, 328-2, 328-2, 328-3, 328-6, 329-8, 329-1, 329-2-8, 328-3, 329-1, 329-3 229-5, 329-6, 329-7-86, 329-8, 329-9, 329-11, 329-12, 329-13, 330-1, 338-4, 330-5, 230-6, 330-7, 330-8, 330-9, 331-1, 331-4, 531-5, 331-7, 331-8, 331-9, 331-10, 331-12, 331-13, 331-14, 331-15, 331-16, 332-1, 332-3, 232-4, 332-6, 332-6, 332-6, 332-3, 331-1, 333-3, 333-4, 333-5, 333-6-26, 234-1, 312-4, 312-3, 313-4, 313-4, 315-4, 315-5, 315-6-18, 313-5, 313-5, 315-6, 315-7, 339-12, 339-13, 340-3-- m, 340-4, 340-5-- m, 340-7, 340-8, 349-9, 340-10 341-2, 341-3, 341-4, 341-5-86, 342-3, 342-4-86, 342-5-86, 342-7, 342-8, 342-9, 342-10, 342-11, 342-12, 342-13, 342-14, 342-15, 342-15, 345-5, 345-6, 345-7, 345-8-85, 345-19, 345-11, 345-12, 346-3, 346-4, 346-5, 346-4-85, 346-8, 346-9, 346-10-85, 346-11-85, 346-12, 347-2-85, 365-5, 365-6, 366-1, 366-3, 366-4, 366-5, 367-7, 367-8-85₀₋₃568-2-85, 36-3, 36-1;—8, 36-2—8, 36-3—8, 36-5, 36-6, 36-7, 370-1—8, 370-2, 270-5, 370-6, 371-1—8, 371-2, 271-3, 371-4—8, 374-3—8, 374-4, 274-5, 374-6, 374-6, 374-9, 374-10, 375-3, 375-4—8, 375-5, 375-7,







3.今回取り組みたい実証内容

農用地のデジタル管理

・市民や業者からの農用地の確認について、低コストでシステムを構築したり 他都市のように地図化(可視化)する。そのことで職員ならだれでも簡単に 回答できる仕組みを作る。若しくは市民が自ら農用地がどこか分かる仕組み を作る。このようなことができないか。

例えば)

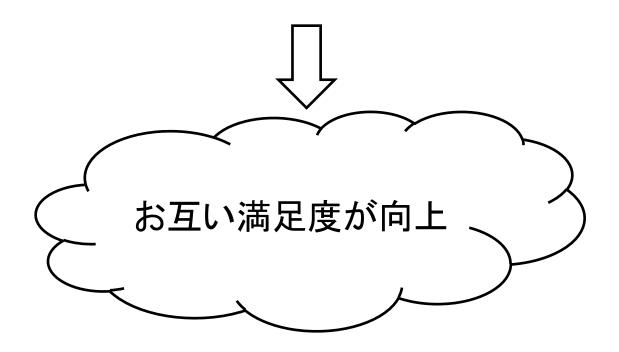
- ・既存のAccessデータを使い、見やすい検索システムの構築
- ・他都市のようにGISを使った地図作成(課題あり)

4.実証で実現したいゴール

新しい閲覧システムの開発などで市民や業者からの問い合わせを激減させることを目指す。

市民 ⇒いつでもどこからでも農用地の場所が確認できる

職員 ⇒他の仕事に集中して取り組める環境ができる



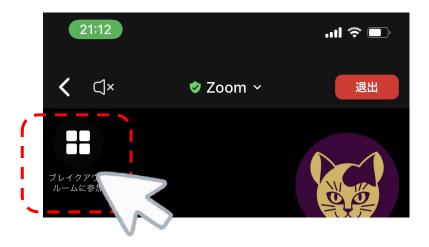
課題QA ブレイクアウトルーム(40分+ α)

■入室方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



課題QA ブレイクアウトルーム

【お願い】

- 課題ヒアリングの場なので、分からないことは何でも聞いてください。
- ただし、何が正解か、担当課の中でも決まり切っていない可能性もあります。
- 競合する企業同士かもしれませんが、カメラをオンにしていただけると会話しやすくなります。
- 課題解決に向けた前向きな議論を一緒にしましょう。
- ご提案の熱い想いは応募フォームへ!
- GovTech Challenge OKAYAMAの事業に関する質問(契約や支援金について)は のちほど全体のQAとして、お答えします。



よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか?

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり50万円(税込み)上限となっています。超過す る部分については、ご負担をお願いします。

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A.提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。 審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただ けますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。



アンケート

説明会へのご参加ありがとうございました! 以下のアンケートへ回答いただくと、本日使用した資料のダウンロードが可能です。 ぜひご協力お願いします。



皆さまのご応募をお待ちしております!

